

PRESS RELEASE

2012年5月23日
株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、クラウドサービスの新ラインナップ

「IIJ GIO 仮想化プラットフォーム VW シリーズ」を新たに発表

--企業が求めるプライベートクラウドのニーズに柔軟に対応可能な、仮想化プラットフォームを提供開始--

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 幸一、コード番号:3774 東証第一部)は、IIJ が 2009 年 12 月より提供しているクラウドサービス「IIJ GIO サービス」のラインナップとして、「IIJ GIO コンポーネントサービス 仮想化プラットフォーム VW シリーズ(以下、IIJ GIO 仮想化プラットフォーム VW シリーズ)」を新たに追加し、2012 年 8 月より提供開始します。

IIJ GIO はサービス開始当初より、仮想サーバ、専有サーバの 2 種類を提供しておりますが、今回、同じサービス基盤上に新たに仮想化技術として VMware vSphere®、ストレージ製品として EMC のユニファイド・ストレージを採用した仮想化プラットフォームを提供します。従来から提供していた仮想サーバや専有サーバと比較して、仮想基盤上の OS やアプリケーションはお客様が自由に設計、構築できるため、業務環境や要件に合ったシステムをクラウド上に構築することができます。

2010 年以降、企業システムの基盤としてクラウドサービスの利活用が進んでおり、IIJ GIO も 2011 年度末までに 1,000 以上のシステムに導入されています。しかしご利用いただいているお客様の半数以上は、インターネットではなく閉域網の WAN サービスを経由して IIJ GIO を利用しており、パブリックでなく、社内システムを構築するためのプライベートクラウド基盤として、IIJ GIO が活用される傾向が顕著になっています。企業がプライベートクラウドを志向する中、IIJ は IIJ GIO で培ってきたノウハウや技術力を活かし、プライベートクラウドの構築に必要な機能を強化した IIJ GIO 仮想化プラットフォーム VW シリーズを開始することで、今後、エンタープライズ市場のニーズに積極的に応えていきます。

IIJ GIO 仮想化プラットフォーム VW シリーズの特長は以下の通りです。

・エンタープライズシステムのニーズに最適な仮想化環境を、クラウド上に実現

一般的な IaaS と異なり、仮想サーバ自体を自由に設計、構築可能な仮想化プラットフォームを提供します。仮想化技術としては VMware 社の VMware vSphere®を採用し、仮想マシンを統合管理するための VMware vCenter Server と組み合わせて提供します。市場に出ている商用アプリケーションの多くは VMware 環境をサポートしているため、IIJ GIO 仮想化プラットフォーム VW シリーズを基盤として採用することで、お客様は様々なシステムを IIJ GIO 上に容易に構築することができます。また、NFS、iSCSI、Fibre Channel といった様々な接続プロトコルに対応し、幅広いディスク性能をもった EMC 社のストレージ製品を採用することで、多彩なストレージメニューを提供します。これにより、初期投資や運用コストを抑えつつ、エンタープライズシステムの構築に求められる様々なニーズを、容易にクラウド上で実現できます。

・各種アドオンと自由に組み合わせて、柔軟なシステムを実現

IIJ GIO 仮想化プラットフォーム VW シリーズは、IIJ GIO コンポーネントサービスで提供しているネットワーク接続や監視などの各種アドオンメニューと自由に組み合わせることができます。組み合わせ可能なアドオンは1,000種類以上あるため、仮想基盤の自由度に加えて、従来以上にお客様個別のカスタマイズに柔軟に対応することができます。

・必要な各種のソフトウェアを安全にダウンロードできる、ソフトウェアプラットフォームを提供

OS、仮想アプライアンス、業務ソフトウェアなど、IIJ GIO 仮想化プラットフォーム VW シリーズ上で利用可能なソフトウェアを集めたソフトウェア配信ポータルを、2012年8月より順次提供します。これにより、必要なソフトウェアをセキュアな環境から安全にダウンロードし、迅速にサーバを構築することが可能になります。今後は、ソフトウェアイメージの保管やライセンスの管理、課金代行など、様々な追加機能を提供していく予定です。

本サービスの利用用途の一つとして、ディザスタリカバリーを目的としたオンプレミス環境とのハイブリッドクラウド利用を想定しています。今後は株式会社ネットワークと共同で、VMware vCenter Site Recovery Manager を利用して、ディザスタリカバリーを実現するためのソリューションを開発していく予定です。

なお、この度の発表について、パートナー各社から以下のエンドースメントをいただいております。

IIJ では今後、エンタープライズニーズを取り込んだ機能強化に最優先で取り組み、プライベートクラウド市場向けに最適なサービス、ソリューションを開発、展開してまいります。

● IIJ GIO 仮想化プラットフォーム VW シリーズ サービスメニュー

- VMware vSphere ESXi サーバ
 - ◇ H240VW、H240VW-FC
- データストア
 - ◇ NFS、iSCSI、Fibre Channel
 - ◇ 標準、高速、超高速
- ネットワーク
 - ◇ インターネット接続、ローカル接続、コンポーネント接続

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 富永、村松

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail: press@iij.ad.jp URL: <http://www.iij.ad.jp/>

【パートナー各社からのエンドースメント】

● ヴィエムウェア株式会社

ヴィエムウェア株式会社は、IIJ の新しいクラウド基盤サービス「IIJ GIO 仮想化プラットフォーム VW シリーズ」の提供開始を心より歓迎致します。導入初期でホスト 1,000 台以上の VMware 基盤で提供される IIJ の新サービスは、当社のお客様に最適化されたクラウド "Your Cloud" というコンセプトと一致し、お客様のプライベートクラウド環境構築をサポートするものです。当社は IIJ の新しいクラウドホスティングサービスをサポートし、お客様の IT の変革を実現することでビジネスそのものの変革を推進して参ります。

ヴィエムウェア株式会社
代表取締役社長 三木泰雄様

● EMC ジャパン株式会社

EMC ジャパンは、IIJ の新クラウドサービス「IIJ GIO 仮想化プラットフォーム VW シリーズ」の提供開始を心より歓迎いたします。クラウドサービスが本格的に利用されるようになってきた今、各企業における基幹業務においても、クラウドサービスが持つ柔軟性、俊敏性のメリットを生かしたプライベート・クラウドの導入が急速に進んできています。そのニーズを支援すべく、信頼性が高く、お客様の業務環境にあった環境を迅速に提供できる新しいクラウドサービスを打ち出した IIJ に大いに期待しています。EMC では、IIJ がクラウドサービスを安全で信頼性高く、安心して提供できるための IT 基盤として、ユニファイド・ストレージを提供しています。ユニファイド・ストレージの持つ最先端の機能や高い信頼性、コストパフォーマンスの高さなどにより、強固で信頼性の高いサービス基盤の一役を担っています。今後も、EMC が提供する各種ソリューションにより、IIJ のクラウドサービスを活用されるお客様に価値ある IT 基盤を提供して参ります。

EMC ジャパン株式会社
代表取締役社長 山野修様

● 株式会社ネットワーク

国内初の VMware ディストリビュータとして、数百社のシステムインテグレーション企業様(以下、SI パートナー様)を通じて仮想サーバやプライベートクラウドの普及に努めてきたネットワークは、IIJ が VMware 製品によって世界的にも大規模といえるミッションクリティカルなクラウドサービス「IIJ GIO 仮想化プラットフォーム VW シリーズ」を提供されることを心よりお祝い申し上げます。弊社では、企業 IT インフラのクラウド化の動きに際して、IIJ をクラウドサービスの専門パートナーと位置付け、今後、その協業の枠組みを拡大したいと考えています。協業の第 1 弾として、新たに VMware vCenter Site Recovery Manager を利用したソリューションを、プライベートクラウドを構築する SI パートナー様のための付加価値ツールとして推奨していく予定です。VMware vCenter Site Recovery Manager については、当社の複合システム検証センター「GARAGE」で検証済みであり、また既に多くのシステム構築の経験も有しています。今後、当社 GARAGE と IIJ データセンターを接続して、同サービスのデモ環境を整備する予定です。

株式会社ネットワーク
代表取締役社長 森田晶一様